

お知らせ

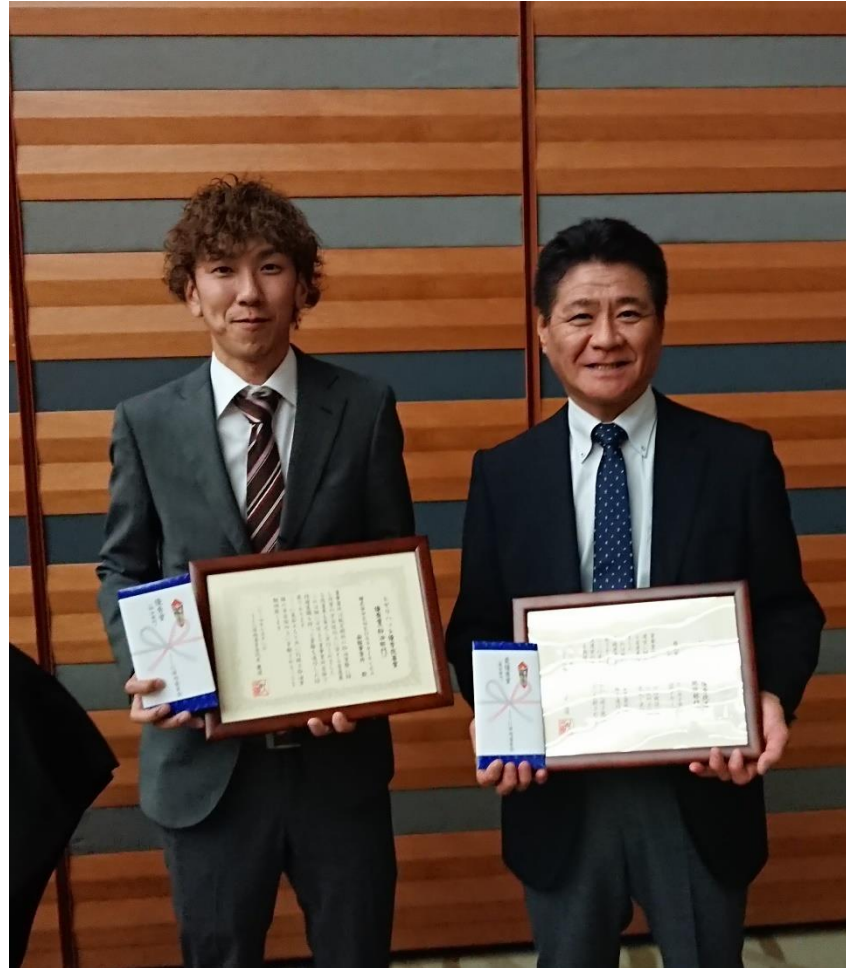
JIG国内委員会ヒヤリハット改善事例 伊丹事業所施設グループ 最優秀賞（施設部門） 函館事業所 優秀賞（給油部門） 受賞

6月18日に東京・経団連会館にて行われた、*JIG国内委員会における2023年ヒヤリハット改善事例選定において、
当社伊丹事業所施設グループ提出の内容が施設部門において最優秀賞に、
函館事業所提出の内容が給油部門において優秀賞に選定されました。
施設部門・給油部門のそれぞれで、信頼される給油サービスの提供という経営方針が浸透し、更なる改善活動に取り組んできた成果が結実したものになります。
これからも当社は「高品質な給油サービスを通じて、航空機運航に携わるすべての人に安心を提供」する使命を果たすべく、邁進してまいります。

*JIG：ジェット機燃料に関わる品質規格、取扱指針を作成・管理する国際組織

*JIG国内委員会：日本の石油元売、エアライン、空港施設、給油会社からなる、石油連盟の附属機関

表彰式後の記念撮影



(左)函館事業所・佐藤さん (右)伊丹事業所施設グループ・松井さん

表彰状（施設部門）

ヒヤリハット優秀改善賞
最優秀賞（施設部門）

株式会社ENEOSスカイサービス
伊丹事業所 施設グループ 殿

貴事業所は航空燃料供給施設の管理運営に関し作業の安全性向上に資する有意義な改善策を策定し実行されました

これは偏に日頃より貴事業所全体で問題意識を持って業務を遂行した結果であります

ここに表彰すると共に引続き施設管理運営の安全性向上に貢献されることを期待致します

二〇二四年六月十八日

JIG国内委員会代表 渡辺



表彰状（給油部門）



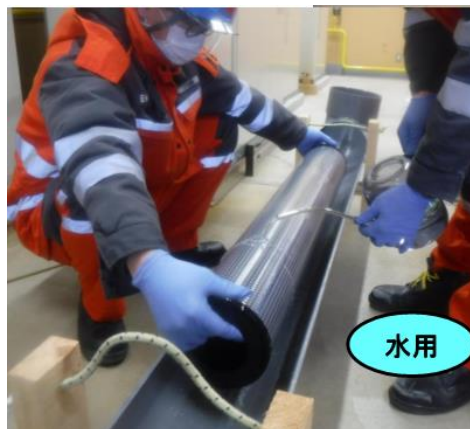
2023年 ヒヤリハット改善事例（施設部門）

事象：石連指針第13版発効に伴い、セパレーターエレメントの撥水検査が必要となったが、長尺エレメント(長さ1120mm)が収まるオイルパンが市販品では見つからなかった。

対策：汎用品として販売している「硬質塩ビパイプ」を加工してオイルパンに用いることを考案。ケロシンに対して耐油性がある硬質塩ビパイプを2分割して、油用・水用の2台を作成。両端蓋の接着にはエポキシボンドを使用し、油用には導通性を持たせるため銅線を接着し、ボンディングポイントを取り付けた。



↑硬質塩ビパイプ。内径 200mm、長さ 2000mm



← ↑2等分した塩ビパイプを油用・水用のオイルパンに加工

→油用オイルパンに銅線を接着、ボンディングポイントを取付



2023年 ヒヤリハット改善事例（給油部門）

事例：定期便給油準備を整えデッドマンを握ったところ給油が開始されなかったため、給油車両の不具合を疑い一つ一つ確認したが、結局原因は判明しなかった。最終的にSHIP側の不具合と判明し、整備の対応の指示の下、無事給油終了となった。

対策：不具合に起因する箇所を点検するための緊急マニュアルを給油車両ごとに作成し、車両に積み込む。また、このマニュアルを教育訓練資料として活用。



車両ごとに作成された緊急マニュアル

株式会社ENEOSスカイサービス

函館事業所 2023年度 作成

① 給油不能時のチェックポイント

② 全てのバルブが正常な位置（給油可能状態）にあるか確認



緊急マニュアルの内容の一部